経営学部

経営学科

教育基本方針

甲南大学経営学部では、経営学に関する専門知識および分析能力の教授を通じて、「ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織(企業)の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を 有し、社会に貢献するビジネスパーソンの養成」を教育の基本方針とします。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。経営学部の教育基本方針のもと、卒業必要単位数 130 単位以上(基礎共通科目又は国際言語文化科目18単位 外国語科目8 単位 保健体育科目2 単位 専門教育科目102 単位以上)を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に 学士(経営学)の学位を授与します。

- (1) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行及び倫理的責任力を有しています。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力を修得しています。
- (4) 各種スキルと論理的思考力を有し、それに基づいて経営問題の発見・説明・解決力を体得しています。
- (5) 豊かな個性に基づいた社会的貢献力を発揮できます。
- (6) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。

教育課程編成・実施の方針

経営学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、 専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授 与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラム・カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。 カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1)教育内容

- (1) 初年次では、経営学を学ぶための前提となる知識を得るとともに、経営学部の学びの基礎を形成するため、少人数クラスで、プレゼンテーション能力や表現力を鍛える基礎的な科 目を選択必修科目として配置します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4)1・2 年次には、簿記やビジネス英語のようなビジネスマンとして必要なスキルを学ぶ科目を配置します
- (5) 経営戦略、経営組織、財務会計、管理会計、マーケティング、ファイナンス、並びに、国際化の7 つの領域に関して、それぞれの学生が専門領域を選んで体系的に学びを深められるようにするため、年次進行に合わせて段階的に高度化する本格的な専門科目を配置します。
- (6) 問題発見・解決能力などの社会人としての基礎力を育成するため、2 年次から卒業時まで続く、少人数クラスによる専門演習科目を配置します。また専門演習での指導に基づき、 卒業時には卒業研究(卒業論文)により、在学中に学んだことを集大成します。 (7) スペシャリストとしての能力とゼネラリストとしての視野を養うため、意欲を持った学生を対象としてビジネスリーダー養成プログラム(ビジネス・プロフェッション・コース/ グローバル・ビ
- ジネス・コース/ アカウンティング・プラクティス・コース)を設定します
- (8) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1 年次から4年次まで継続的に実施します。

2)教育方法

- (1)1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習により又は併用により授業を実施します。
- (1) 加速的に表すに存む。たっかったがた、時後、ほぼによったは川川により及来を実施します。 (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理 観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティ ブ・ラーニングを積極的に活用します
- (4) 成績評価をGPA で表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

別価値報						カリ	トュラム	マップ										
本数字を学びにかけ、機能的に対性性合作物と目を考え																		
B 製作学者の知识からなどを表現があまったのというというなどを表現があまった。 GS C 企業権の問題を受け、アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・アナス・						到達日4	宗											
(2) 金額が関連が担当の大きので乗り機能を受け、ビジネストーツとして必要が開発が関係した対象(監察等)	A	A	幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。												(3)			
□ ○ 合物の関心との対象の影響を守い、金色が色を振り、実践するが全体につける。(合計学) □ ②を制度の影響を影響、くれに強小して金融を含物できるがある。(60字) □ ②を制度の影響を影響、というないに強いて金融を変か、社会が自動のための基礎を形成する。 □ ② と本述の一日として何ととの情報を連び、主なら自動ができるべ、ペープリーが形成のための基礎を形成する。 □ ② 公式を分の一日として何ととの情報を連びましてもの自動に含むいく、やイブリーが形成のための基礎を形成する。 □ ② 公式を対象があいきを必要と単す、自動を向けますがきがを楽う。 □ ② 公式を対象があいきをかいますがある。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	F	3	経営学を学ぶにあたって必要となる基礎的な考え方や分析手法を習得する。													(3)		
E 内 企業と当場との関係を報信し、それに基元との定金数を開発できるべく。今の下来であったの正確を形成する。 (3) G 社会の一層として機ではとめたの連関極を理解し、その実みがためが力を強う。 (1)(0)(5) 日 実施を受見し、自治派とが政権を表し、全人の関係ができるべく。今のア形成のための正確を形成する。 (2)(6) J 社会の一層として機ではより、最近的機能ができるべく。今のア形成のための正確を形成する。 (2)(6) J 社会の上の自治派とが対応を表しまの計できるべく。今のア形成のための正確を形成する。 (2)(6) J 社会の上の事情を対応の認めを確認を対応できるべく。今のア形成のための正確を形成する。 (2)(6) J 社会の上の事情を対応のまたがあります。 (2)(6) J 社会の上の事情を対応の認めを発表と向けできるべく。今のアルスの表しまであります。 (2)(6) J 社会の主意を表しましまがあります。 (2)(6) J 社会の主意を表しましまがあります。 (2)(6) J 社会の主意を表しまさがあります。 (2)(6) J 社会の主意を表しまさがあります。 (2)(6) J 社会の主意を表しまさがあります。 (3)(6) J 社会の主意を表しまさままままままままままままままままままままままままままままままままままま	((3)(4)		
F 企業部の回転化とされによりの場所を認知し、その課金のための能力を養う。 (3) G 社会の一員比して外にことの意販を高め、生态的資献ができゃくく、ヤャリア形成のための基礎を形成する。 (3) I 関数を発足し、自分率へ、解決策を考急が下、自存的が腐力を含か。 (4) (4) 1 (4) (4) (5) 大学の教育報酬書を検え、全身を含が下のようなできゃくく、ヤャリア形成のための基準を持たする。 (4)	Ι)																
日 社会の一見して動く上が変染られた。社会の関係が全されく、シャリア形成のための基礎を形成し、自ら隔へ、緑沢東を改造して、自由の関係力を指力。	F	3																
1 財政を発見、19.5%、報応発生の対象を収集に、名れを有話にあって部かを表示	F																	
1	(
野野教育科目養 (種名字科)																		
特別の															-			
現在 現在 現在 現在 現在 現在 現在 現在	_ `														. , . ,			
接続音音	専門]教育	1	·目表(経宮字科)									年度(令	和4年度)	の人字生	に適用」		
A B C D E F G H 1 J				授業科目名	単位数	配当年次		1	1	1	到達	目標		1				
接触性 1 1 1 1 1 1 1 1 1				IX. TITA	1 122 300	пантус	A	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J		
### ### ### ### ### #################				基礎演習	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
© 世				経営学総論	4	1	0	0	0				0	0	0			
### 1 日 新学入門 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			ţ	会計学総論	4	1	0	0		0			0	0	0			
日	A			マーケティング総論	4	1	0	0			0		0	0	0			
審記修習 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			ĺ	経済学入門	2	1	0	0			0							
A以上のうち16単位以上選択必修				入門簿記	4	1		0		0			0		0			
株計学人門 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				簿記演習	2	1		0		0			0		0			
では、	(A)			516単位以上選択必修														
日 日 信報処理機論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			楚 関 車		4	2	0	0							0			
A		厚		情報処理概論	4	2		0					0		0			
### A STANDARD				グローバル・コミュニケーション I	4	2	0	0				0	0	0	0	0		
 経営戦略論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				グローバル・コミュニケーション Ⅱ	4	2	0	0				0	0	0	0	0		
# 時間		基	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		4	2		0	0			0						
野 野物商会職					4	2		0	0			0						
Table					4	2		0		0					0			
 (B)		禾			4	2		0	0	0					0			
 経営学史 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		F			4	2		0	0		0							
(B) 経営財務論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					4	2	0	0	0									
 (B) 経営労務論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					4	2	0	0										
(番) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (**)					4	2		0			0							
T 業経営論					4	2												
(B) 経営 「アジア経営論 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					4			0	0				0					
(B) (B) (B) (B) (B) (C) (C)<			経		-													
専門目目 4 2 ○ ○ ○ 経営科学 4 2 ○ ○ ○ ビジネスシステム論 4 2 ○ ○ ○ 中小企業論 4 2 ○ ○ ○ 環境経営論 4 2 ○ ○ ○ 事営利組織論 4 2 ○ ○ ○ 監査論 4 2 ○ ○ ○ 積報会計システム論 4 2 ○ ○ ○ 税務会計 4 2 ○ ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○ ○			営					1	1			+						
株式	(B)		学玄			1												
専門科目 経営科学 4 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			統	*				1				0	_					
時間 中日 中小企業論 環境経営論 非営利組織論 4 2 管理会計 監査論 4 2 情報会計システム論 4 2 一 (日報会計システム論) 4 4 2 (日報会計システム論) 4 4 2 (日報会計システム論) 4 4 2 (日報会計システム論) 4 4 2 (日報会計・ (日報会計・ 4 2 4 2 4 2 4 <t< td=""><td></td><td></td><td rowspan="4"></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td>_</td><td></td></t<>					1			-					0		_			
中小企業論 環境経営論 非営利組織論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					-										_			
日 環境経営論						-									0			
非営利組織論 4 2 ○ ○ 管理会計 4 2 ○ ○ 監査論 4 2 ○ ○ 情報会計システム論 4 2 ○ ○ 税務会計 4 2 ○ ○ 国際会計論 4 2 ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○					-													
管理会計 4 2 ○ ○ ○ 監査論 4 2 ○ ○ 情報会計システム論 4 2 ○ ○ 税務会計 4 2 ○ ○ 国際会計論 4 2 ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○								1										
監査論 情報会計システム論 4 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○							O	<u> </u>	1	_								
情報会計システム論 4 2 ○ ○ 税務会計 4 2 ○ ○ 国際会計論 4 2 ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○						-				1					0			
会計 学 国際会計論 4 2 ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○									0									
学 国際会計論 4 2 ○ ○ ○ 財務諸表分析 4 2 ○ ○ ○ 会計史 4 2 ○ ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○ ○			会		-													
統 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○			計												U			
統 会計史 4 2 ○ ○ 企業会計理論 4 2 ○ ○			子系	四次云 Tim 財教 妻 上		1		-		-		U						
企業会計理論 4 2 ○ ○ ○			統	7.137 HE 32.73 VI							U				U			
							0											
				経営分析	4	2		0		0					0			

						到達目標										
			授業科目名	単位数	配当年次	А	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J	
			マーケティング管理論	4	2		0	0		0						
			国際マーケティング論	4	2		0			0	0					
			消費者行動論	4	2	0	0			0					1	
		演習		4	2)	0	0		0					1	
	専	学	流通システム論金融論証券論	4	2		0			0	0					
®	門科	糸統	証券論	4	2		0			0	0					
	目		リスクマネジメント	4	2		0	0		0						
			地域・観光マネジメント	4	2		0			0		0	0	0		
			地域金融論	4	2		0			0		0	0	0		
		演	専門演習 I	2	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			専門演習Ⅱ	8	3•4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(B)	上		566単位以上選択必修					•			•	•			•	
			経営学特論a	4	3•4	0	0	0								
			経営学特論b	4	3•4	0	0	0								
			経営学特論c	4	3•4	0	0	0								
			経営学特論d	4	3•4	0	0	0								
			経営学特論e	2	3•4	0	0	0								
			会計学特論a	4	3•4	0	0		0							
			会計学特論b	4	3•4	0	0		0							
			会計学特論c	4	3•4	0	0		0							
			会計学特論d	4	3•4	0	0		0							
			会計学特論e	2	3•4	0	0		0							
			商学特論a	4	3•4	0	0			0						
			商学特論b	4	3•4	0	0			0						
			商学特論c	4	3•4	0	0			0						
			商学特論d	4	3•4	0	0			0						
			商学特論e	2	3•4	0	0			0						
			経営実務a	2	3•4	0	0					0			0	
			経営実務b	2	3•4	0	0					0			0	
			経営実務c	2	3•4	0	0					0			0	
			経営実務d	2	3•4	0	0					0			0	
			中級簿記	4	2		0		0			0		0		
			工業簿記	4	2		0	0	0			0	_	_		
			経営コンサルティング論	2	3•4	0	0					0	0	0	0	
			情報処理I	4	2	0	0							0	_	
			情報処理Ⅱ	4	2	0	0							0		
			グローバル・ビジネス特論 I	2	2			-			0	0	0	0	0	
			グローバル・ビジネス特論 II 外書講読 I	2	2						0	0	0	0	0	
	_			4	2		0	0	0	0	0				-	
	般		外書講読 II ビジネス英語 I	4	2		0	0	0	0	0					
			ビンネス央語 I ビジネス英語 II	2	2						0				0	
			ビジネス英会話・初級	4	2						0				0	
			ビジネス英会話・上級	4	2						0				0	
			実践的経営シミュレーション演習	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			初級マクロ経済学	2	2	0	0									
			初級ミクロ経済学	2	2	0	0									
			財政	4	3•4	0	0									
			金融	4	3•4	0	0								-	
			国際経済	4	3•4	0										
			産業経済	4	3•4	0	0									
			入門民法 財産法編 I	2	2	0	0									
			入門民法 財産法編Ⅱ	2	2	0	0									
			実践民法 I	2	3	0	0									
			実践民法Ⅱ	2	3	0	0									
			実践民法Ⅲ	2	3	0	0									
			実践民法IV	2	3	0	0									
			実践民法V	2	3	0	0									
			実践民法VI	2	3	0	0									

		77.11.181		到達目標									
	授業科目名	単位数	配当年次	А	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J
	入門商法 会社法編	2	2	0	0								
	証券市場と法	2	3	0	0								
	金融取引と法	2	3	0	0								
_	証券業と法	2	3	0	0								
般	公共政策論 I	2	2	0	0								
	公共政策論Ⅱ	2	2	0	0								
	入門ビジネス法務	2	2	0	0					0			
	ビジネスを支える法の世界	2	3•4	0	0					0			
	ベーシック・キャリアデザイン	2	1	0						0			0
	プラクティカル・キャリアデザイン	2	3	0						0			0
デキ	アドバンスト・キャリアデザイン	2	4	0						0			0
ザヤ イリ	インターンシップ	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ンア	実践ボランティア [1	1	0				0		0	0	0	0
	実践ボランティアⅡ	1	1	0				0		0	0	0	0
	インターナショナルOCA	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業指導I	2	3	0						0			0
	職業指導Ⅱ	2	3	0						0			0
	人文地理 I	2	2	0									
	人文地理Ⅱ	2	2	0									
	自然地理学	2	2	0									
	日本史概説 I	2	2	0									
教	日本史概説Ⅱ	2	2	0									
職	アジア史概説 I	2	2	0									
	アジア史概説 Ⅱ	2	2	0									
	西洋史概説 I	2	2	0									
	西洋史概説Ⅱ	2	2	0									
	政治学入門	2	2	0									
	政治学原論	2	2	0									
	法律学概論	2	2	0									